

漫湖水鳥・湿地センター

たより

2007年5月15日発行

No.46



毎回「たより」を読んでいただいております。昨年、たくさんの応募の中から最優秀賞に選ばれた「つなげよう つながってる 漫湖と私たち」というキャッチフレーズにふさわしいデザインで、この度、かつてからの念願であった**ポスターが完成いたしました**

漫湖と私たちのつながりは、遠い遠い過去から歴史、文化はさることながら、実際人間が生きていくための生活の場でもありました。

漫湖の周辺の古波蔵地域では、漫湖の水を利用しての豆腐作りも盛んに行われ、それで生計を立てている家庭も見られました。子どもたちは、そこで泳いだり、貝、カニをかんづめの空きカンカラーに入れて持ち帰り食べていました。(つながっている)

あれから、半世紀以上も経ち、今はどうでしょうか。

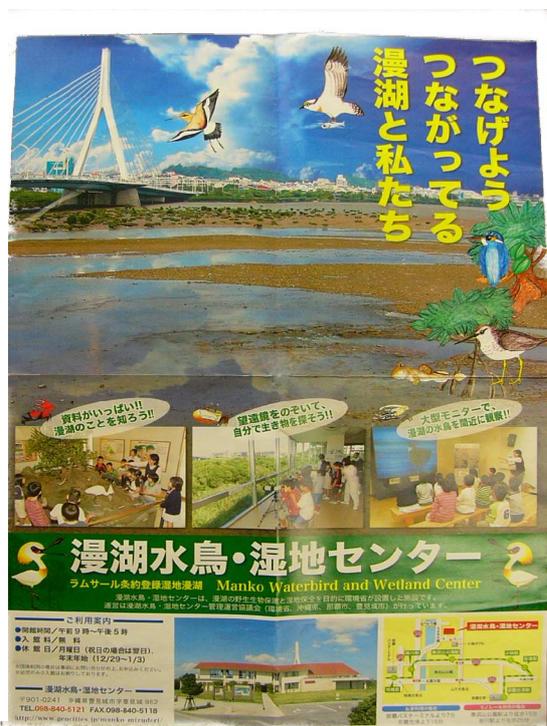
時代とともに、人々の生活スタイルも様変わりし、それに伴い自然界の指標である鳥たちの種類や数も減ってきています。

幸い、漫湖は渡りの中継地点で、鳥たちの国際空港であり、なかゆくい場所でもあります。

さあ、あなたもしばしの間、足を止めて漫湖をのぞいてみませんか？

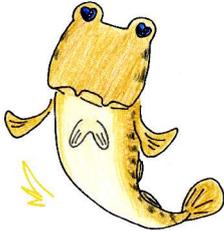
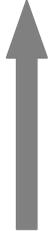
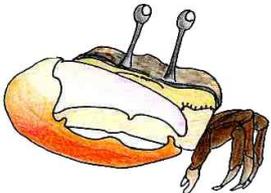
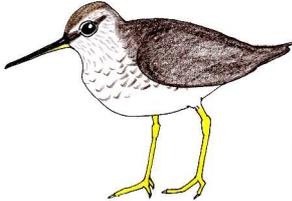
トントンミーや、シギ・チドリ・シオマネキが「おいで、おいで」と迎えてくれることでしょうか。そして、これからも漫湖を地域の宝として、明日へ希望をもって、悠久につなげていきましょう。(つなげよう)

今、まさに“つなげよう、つながってる漫湖と私たち”なのです。



* * 漫湖水鳥・湿地センター 年間行事予定 * *

漫湖水鳥・湿地センターでは、19年度もいろいろな行事を企画していきたいと思っております。日程などの詳細は、決まり次第通信やホームページにてお知らせします。(行事の日時・内容等は都合により変更になる場合がございます。ご了承下さい。)

	観察会	自然講座・アート教室	その他	
4月				
5月	愛鳥週間-野鳥観察会			
6月		コウモリ講座	 トントントニークラブ 作文・絵画コンクール 作品募集 	
7月		水質講座		
		マングローブ講座		
		昆虫標本づくり		
	泥の中の生き物観察会			
8月	カニの観察会	絵画教室		
	魚の観察会			
	カニの観察会(幼児向け)			
9月				
10月	自然観察ウォーキング			
11月	野鳥観察会			
12月		木の実アート教室		
1月	野鳥の観察会			
2月	湿地の日イベント			
3月				

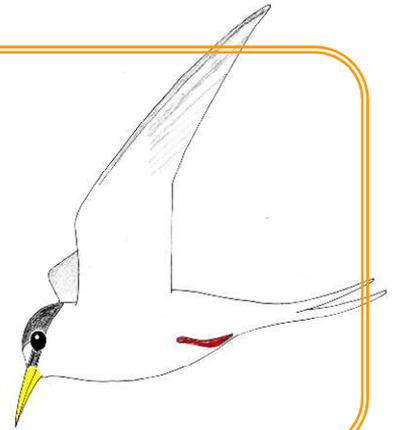
4月	羽数	先月との比較
ゴイサギ	2	
ササゴイ	1	
アマサギ	1	
ダイサギ	12	
チュウサギ	12	
コサギ	7	
アオサギ	14	
クロツラヘラサギ	2	
ミサゴ	2	
バン	3	
オオメダイチドリ	1	
ムナグロ	18	
ダイゼン	1	
トウネン	1	
アカアシシギ	7	
アオアシシギ	33	
タカブシギ	1	
キアシシギ	10	
イソシギ	9	
ダイシャクシギ	3	
チュウシャクシギ	8	
タシギ	1	
セイタカシギ	1	
コアジサシ	2	
カワセミ	1	
合計	153	

4月25日 コアジサシ

水面をヒラヒラ飛ぶ鳥を見つけました。

漫湖に夏を知らせる鳥、コアジサシです。

今年も夏の到来を知らせにきてくれました。



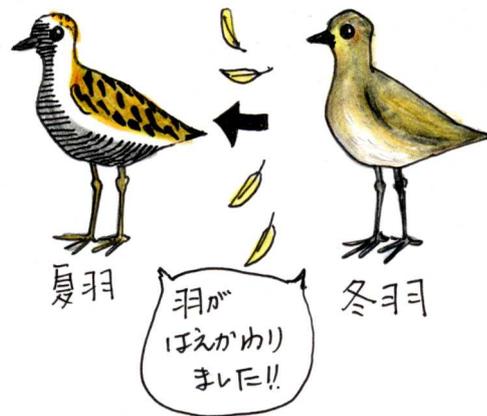
4月21日 ムナグロ

今年のムナグロの飛来数は、昨年よりもかなり数が少なく、さびしいシーズンでした。3月下旬からは、姿を見ることがも少なくなりました。

しかし、4月21日、ムナグロを5羽見つけました。

しかも、3月に見ていた冬羽ではなく、しっかりと夏羽になっていました。

顔から腹にかけての黒と背中中の黄色が美しく、やはり冬羽とは一味違いました。



4月 クロツラヘラサギ

冬の間、漫湖や具志干瀨周辺で過ごしていた15羽ほどのクロツラヘラサギ。そのうちの数羽は、4月上旬には、繁殖地である朝鮮半島に無事渡っていたようです。

一方、漫湖にいる2羽のクロツラヘラサギはのんびりとしたもので、5月10日現在、まだ漫湖に滞在しています。

いつ旅立っていくのか、このまま夏の間も沖縄に残るのか……

「今日は、クロツラいるかな？」センター職員の朝の会話です。

～ 愛鳥週間に寄せて～

バードデーは、1890年頃、アメリカで森林の保護者である小鳥たちを守ろうという考えの下に生まれたそうです。1947年、日本鳥類保護連盟が創立された事をきっかけに、その考えが広まり、国民に「自然に親しむ愛鳥思想」が高まって今日に至りました。毎年5月の第2週あたりから1週間を愛鳥週間とし、全国各地で自然観察会や野鳥観察会が行われています。

県内各地でも愛鳥週間にちなんだイベントが催されています。この機会にそれぞれのウォッチングスタイルで出かけてみませんか？ちなみに、私のウォッチングスタイルは、漫湖の土手の階段に座ってサーターアンダギーを片手に、干潟をのんびりと歩いている水鳥たちを私ものんびりと見て時間を過ごすというスタイルです。

野鳥観察のマナー

や: 野外活動は無理なく楽しく！

野外には思わぬ危険がひそんでいます。知識とゆとりをもって安全に行動を！

さ: 採集は控えて、自然はそのままに！

むやみに動植物を採集するのはつつしみましょう。とって良いのは写真だけ！

し: 静かに、そーっと！

大きな音や行動は野鳥達を警戒させます。静かに観察しましょう。

い: 一本道、道からはずれないで！

危険をさけ、自然をいためつけず、田畑の所有者に迷惑をかけないようにしましょう。

き: 着るものにも一工夫！

鳥は視力がすぐれ、色も区別できます。鳥に警戒させないような服装を。

も: もって帰ろう、思い出とゴミ！

ビニールやプラスチックが鳥たちを死に至らしめることもあります。

ち: 近づかないで、野鳥の巣！

子育ての頃、親鳥はとても神経質です。洲(卵や雛)放棄することもあります。



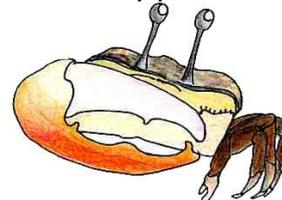
日本野鳥の会の資料より

団体利用

総入館者数: **79,436** 名

4月の入館者数: **1,331** 名

うち団体 **407** 名



久高 萌

*** 編集後記 ***

今年も沢山の方に来館していただき、皆様からのご指導やご助言等を受け、私達職員もセンターと共に成長していきたいと思っております！！センターで会いましょう

< 漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会 (環境省・沖縄県・那覇市・豊見城市) >

〒901-0241 沖縄県豊見城市字豊見城 982 TEL:(098)840-5121 FAX:(098)840-5118

開館時間 9:00 ~ 17:00 休館日: 月曜日 (月曜日が祝日の場合・翌日) 年末年始 (12/29 ~ 1/3)

E-mail: manko_mizudori@ybb.ne.jp HP: http://www.geocities.jp/manko_mizudori/

4月	
学童・児童クラブ	
しばみつ児童	那覇市
小学校	
とよみ小学校3年	豊見城市
とよみ小学校4年	豊見城市
長嶺中学校2年	豊見城市
津嘉山小学校5年	南風原町
その他	
わかば会	豊見城市
マンガース会議	
JICA	
研修	
とよみ小学校研修	豊見城市